

令和2年度 富山県クラブバレーボール連盟 春季大会開催要項

主催 富山県バレーボール協会
富山県クラブバレーボール連盟
協賛 株式会社モルテン
主管 滑川市バレーボール協会

- 開催日 令和3年3月7日(日)
- 会場 滑川市総合体育センター 滑川市柳原 238 TEL076-475-8580
サン・アビリティーズ滑川 滑川市柳原 1537-2 TEL076-475-3342
※サン・アビリティーズ滑川の使用は参加チーム数による。
- 競技種目 6人制男女、9人制男子
- 参加資格 JVA登録や県協会の登録に関係なく出場することができる。
- 参加チーム数 **各種目6チームまで**とする。但し、他種目の申込み状況によっては6チームを超える場合がある。なお、申込みが上限に達した場合は**申込み順の受付**とする。
- 競技規則 令和2年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制、9人制競技規則及び同要項による。
- 競技方法 原則全試合3セットマッチとする。クラブ登録チームの増加、及び各チームの競技力向上を目的とするため、1試合でも多くのゲームができるよう、グループ戦を採用する。但し、**試合進行上2セットで打ち切りとする場合がある。**
- 競技日程 8:10~8:30 受付(時間厳守) 場所:滑川市総合体育センター
8:45 代表者会議 場所:滑川市総合体育センター
9:20 競技開始(9:09プロトコール)
※開会式は行わない。
※参加チーム数によっては種目毎に開始時間を変更する場合がある。
- チーム構成 **・6人制**
チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、14名以内の選手、計17名以内とする。ただし、選手は18名まで申し込むことができる。そして試合毎にリベロプレーヤー2名を含む14名までエントリーすることができる。(選手13名以上をエントリーする場合、必ずリベロを2名エントリーしなくてはならない)
・9人制
チームは、監督・コーチ・マネージャー各1名、15名以内の選手、計18名以内とする。ただし、選手は18名まで申し込むことができる。そして試合毎に15名までエントリーすることができる。
なお、**選手の変更は競技者番号の変更を含め原則認めない**ので記入時には注意すること。本大会に限り、ベンチスタッフに有資格者がいなくても監督・コーチ・マネージャーのベンチ入りを認める。
本大会の審判員及び補助員は各チームで行うものとする。
- 大会使用球 本大会は男女ともモルテン製カラーボール(V5M5000)を使用する。**試合球は各チームで出し合う。**

11. 申込方法 当連盟ホームページより申込様式(エクセルファイル)をダウンロードし記入漏れのないよう確認の上、下記申込先にメール添付にて送付すること。
※本大会はJVAや県登録に関係なく出場できることから、通常の大会で採用しているJVA-MRSでの申込形式とは異なるので注意すること。締切期限後の申し込みは一切受け付けない。また申込締切前であれば内容の変更は可能。
※ 申込先メールアドレス : tcvf.toyama☆gmail.com
☆を@に変えて下さい(迷惑メール防止の為)
12. 参加料 1チーム **3,000 円**。
下記の口座へチーム名にて振り込むこと。
※参加料には空調使用料は含まれておりません。空調設備の使用が必要と判断される場合は、当日各チーム代表者と協議の上、各チームより空調使用料(1,000 円程度)を追加徴収する。但し、サン・アビリティーズ滑川には空調設備がない為、サン・アビリティーズ滑川で試合するチームはこの限りではない。
・振込先:富山第一銀行 上市支店
・口座番号:(普)151349
・口座名義:富山県クラブバレーボール連盟
13. 申込締切 令和3年3月4日(木) 14時(申込、振込完了のこと)
締切までに振込のない場合は申込用紙をメールで送付していても棄権とみなし抽選会リストには掲載しないので注意すること。また抽選結果掲載以降に欠場を申し出た場合は参加料の返金を行わない。
14. 抽選会 主催者責任抽選とする。詳細はホームページにて。
15. 新型コロナウイルス感染症対策について
添付資料を確認の上、周知徹底し記されたことは遵守すること。
16. その他
- (1) 監督・コーチ・マネージャーは規定のマークを左胸部につけること。
 - (2) **本大会は参加チームにて運営することとする為、各チームは積極的なコート設営・撤収への協力をすること。**
 - (3) コート設営完了までは一切の練習を禁止とする。
 - (4) 選手はユニフォーム着用を原則とするが、ユニフォームがない場合本大会に限りゼッケンでの出場を認める。(ゼッケンは各チームで用意すること。)
 - (5) 練習会場は設けない。
 - (6) 参加選手は傷害保険に加入していること。競技中の負傷について、応急処置は行うが、以後の責任は負わない。
 - (7) 体育館使用上の注意を厳守すること。
 - (8) **感染症対策を図るためエントリーチーム数が多い場合、選手及びスタッフ以外の入場者を制限する場合がある**
 - (9) 本大会に関する問い合わせ先
富山県クラブバレーボール連盟 総務委員長 上野 龍一
携帯電話:090-8736-83 四 1 メール:ueno☆suzukikk.com(四を4、☆を@に)
〒930-0275 富山県中新川郡立山町利田 564-13

<添付資料>

(富山県クラブバレーボール連盟)

新型コロナウイルス感染症対策についてご協力とお願い

日本バレーボール協会の「国内競技会の危機管理マニュアル」及び富山県バレーボール協会の「新型コロナウイルス感染症対策対応ガイドライン」等に基づき、下記のとおりご案内いたしますのでチーム関係者の皆様に、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

I. 開催に関する周知徹底事項

- ① 大会にかかわる全ての方は、別紙-1に記したことを遵守すること
- ② また、別紙-2の健康チェックリストを大会当日に提出すること
- ③ 選手およびチームスタッフが以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること(試合当日に書面で確認を行う)
 - 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ④ 感染症対策を図るためエントリーチーム数が多い場合、選手及びスタッフ以外の入場者を制限する場合がある。
- ⑤ マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)
- ⑥ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ⑦ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ1m以上)を確保すること(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- ⑧ 大きな声で会話、応援等をしないこと(鳴り物使用での応援も不可)
- ⑨ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- ⑩ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について、下記の連絡先に報告すること
- ⑪ 参加チームは、アルコール消毒等に必要な物を準備し、観覧席等を利用した場合は退館時に拭き取りを行うこと

【連絡先】総務委員長 上野 龍一 TEL 090-8736-83 四 1

(自動巡回サーチ回避の為、上記のような表示になっています四を4に変えて下さい)

II. 競技に関する周知徹底事項

- ① 選手はマスクを持参し、競技中及びアップ時以外はマスクを着用する
- ② 2人組のストレッチや隊列を組んだランニングは行わない
- ③ 円陣やハイタッチならびに、対戦相手や審判員との握手は行わない
- ④ ベンチスタッフは競技中及びアップ時も、原則マスクを着用する

- ⑤ 手拭き用タオル、給水用ボトルは各自持参し、各自で管理する
- ⑥ 給水前は必ず手指の消毒を行う
- ⑦ タイムアウト、セット間毎にボールの消毒を行うが直接ボールに吹き付けない
- ⑧ タイムアウトについては、アルコール等による手指消毒の時間も含めて1分間とするその他については、大会開催における注意事項を遵守すること。

Ⅲ. 審判員について

- ① 本大会の審判員及び補助役員については、全て参加チームで行う
- ② 審判員、補助役員はマスクを着用する
- ③ 審判員からの飛沫防止のため、ホイッスルは電子ホイッスルを使用する

本大会における新型コロナウイルス感染防止策について

本大会においては、以下1. のとおり日本スポーツ協会が推奨する感染防止策を実施しておりますのでお知らせいたします。なお、参加者（選手・保護者等関係者）の皆さまにおかれましては、2. 参加者が遵守すべき事項についてご理解いただき、遵守いただきますようお願いいたします。

1. 感染防止策（実施策には☑を記入してあります）

(1) トイレ・手洗い場所

- ☑手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- ☑「手洗いは30秒以上」等を掲示すること
- ☑手洗い後には共用の布タオルやエアータオルは使用しないようにすること
- ☑手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- ☑トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- ☑トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること

(2) 更衣室、休憩・待機スペース

- ☑広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること
- ☑ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- ☑室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- ☑換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- ☑スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをする

(2) 観客の管理

- ☑観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること
- ☑大声での声援を送らないことや会話を控えること
- ☑会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること

(3) 試合会場

- ☑換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- ☑換気設備を適切に運転すること
- ☑定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

(4) ゴミの廃棄

- ☑鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- ☑マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

2. 参加者が遵守すべき事項

- ・マスクを持参し、参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ・他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること
- ・試合中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- ・感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- ・イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- ・イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

【大会当日提出】大会参加にあたってのチェックリスト

※このチェックリストは、日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に基づいた新型コロナウイルス感染拡大防止策として提出いただくものです。いただいた個人情報につきましては、万一当大会参加者（応援の方含む）から、大会終了後に新型コロナウイルス感染症を発症または濃厚接触者が発生した場合の連絡にのみ使用させていただきます。

チーム名	ふりがな	ベンチスタッフ 選手 (○)を記入
	氏名	
住所	年齢	歳
連絡先	(いつでも連絡がとれる電話番号を記入) — —	本日の 体温 ・ ℃

●以下確認事項を読み、「有」「無」に○を記入してください。

一つでも「有」がある場合、参加は見合わせてください。

確認事項	有	無
本日も含め、過去14日以内に		
・平熱を超える発熱がありましたか		
・咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状がありましたか		
・だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）がありましたか		
・嗅覚（におい）、味覚（あじ）に異常はありましたか		
・体が重く感じる、疲れやすい等の症状はありましたか		
・新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触はありましたか（濃厚接触とは、マスクを着用せず陽性者と15分以上接触した場合や、飛沫や嘔吐物等に直接接触することを指します）		
・政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への渡航または当該在住者との濃厚接触はありましたか		

●以下の点、しっかり守ってください。（□に √ を記載ください）

□マスクを持参し、参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること

□こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

□他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

□試合中に大きな声で会話、応援等をしないこと

□感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと

□イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

□イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること